

## 第 32 回中央委員会宣言

私たちは、年金の連続削減の流れを変えようと行政不服審査運動の成功を勝ち取り、再審査請求とともに 20 万請願大運動も目標を大きく超過した取組を展開しています。

こうした年金者組合の果敢な運動の成功もあって、安倍暴走内閣に解散を決定させることが出来ました。要求運動の飛躍的前進を組織の拡大強化に結実するため、2 大運動の成功をめざし全国で歴史的な取り組みにチャレンジしました。総合 6 か年計画の第 3 年度第 2 期を果敢に闘い、史上最高の 922 支部 115,000 人の峰を超えて、第 32 回中央委員会を開催しました。

討論では不服審査運動での経験、教訓が語られ、安倍反動暴走政治に抗して闘う年金者組合の存在意義と、一層の奮闘の必要性が確認されました。

アベノミクスの破綻、国民の声を聴かない暴走政治に国民が反発し政権を追い詰めました。私たちは 20 万人請願大運動の目標を大幅に超過させ発展させるとともに、裁判闘争に取り組むことを決議し準備に入ることを決めました。

3,200 万高齢者の命と暮らしを守るために、何としても 20 万人年金者組合の力が必要です。仲間づくり、まちづくりの総合 6 か年計画をもち、日常的に拡大しながら、拡大月間ではさらに飛躍を追及し、目標達成のために力をつくします。

安倍暴走内閣の退陣を求め、年金、医療・介護、生活保護、子育てなどと、地域住民要求を結合した共同を広げます。また各地方選挙や、いっせい地方選挙を要求実現の政治戦と位置づけ今から取り組みを強めます。あわせて憲法、集団的自衛権、原発など諸課題での「一点共闘」に参加し、高齢者・国民の願いや要求の実現に努めます。

仲間の絆を強めながら、地域のさまざまな団体・個人と手をつなぎ、現役世代と団結し、反動政治打破、要求実現の運動と全市町村に支部を、20 万人をめざす仲間づくり・まちづくりを発展させるため組織の総力を挙げて奮闘します。

以上宣言します。

2014 年 12 月 17 日

全日本年金者組合  
第 32 回中央委員会